

令和7年度 第3回技術研修会のご案内

日 時	令和7年11月5日（水）13：30～16：30
会 場	アバンセホール（佐賀県立生涯学習センター） （佐賀市天神3丁目2-11 TEL 0952-26-0011）
主 催	公益財団法人 佐賀県建設技術支援機構
後 援	佐賀県、（一社）佐賀県建設業協会、（一社）佐賀県県土づくりコンサルタンツ協会
研修項目	(1) 13：40～15：00 「人が集まる建築とまちの実践」 佐賀大学理工学部理工学科（都市工学部門） 准教授 萬玉 直子 氏 近年、建築設計が担う領域が拡張している。ハードの設計だけでなくプログラムや運用まで巻き込んだソフトの設計や、ワークショップなど住民とともに作るプロセスデザイン、さらにはまちづくりへのアプローチも必要である。そのような背景には、複雑で不確かな現代において、近代以降の決まったビルディングタイプでは対応できない状況がある。まちの固有性やその建築に集まる人からアプローチする建築やまちについて、実作である「隠岐国学習センター(2015年竣工)」や「まちのような国際学生寮(2019年竣工)」などを通して、人が集まる場について説明する。 (2) 15：10～16：30 「有明海の水温の長期変化について」 佐賀大学理工学部理工学科（都市工学部門） 教授 押川 英夫 氏 有明海における長期的な水温変化を明らかにするため、1973年から50年間の浅海定線調査データ等の解析を行った。その結果、有明海の水温は長期的に有意な上昇傾向を示し、特に湾奥表層では空間的な均一化が進行していた。また、湾奥東側では水温上昇とともに塩分の減少傾向が確認され、流入河川の影響の変化が示唆された。さらに、有明海に流入する全ての一級河川で水温上昇が認められ、有明海の水温よりも高い上昇率を示した。以前の河川は有明海よりも水温が低く冷却効果が見られたものの、近年では同程度となり、その効果が失われつつある可能性が示された。
対 象 者	地方公共団体等職員、建設事業関係者（県内優先）、一般の方（大学生以上）
定 員	300名
参 加 料	無 料
申込方法	当機構のホームページ（ https://www.sagacat.or.jp/gijyutsukensyuu.html ）よりお申し込みください。1社につき3名まで受け付けます。 <u>『研修情報』→『技術研修会』→『令和7年度第3回技術研修会申込』をクリック！</u>
申込期間	令和7年10月14日（火）14:00～令和7年10月24日（金）17:00 （定員になり次第締め切り。定員に満たない場合は次の期間に追加募集を実施。） 令和7年10月27日（月）14:00～令和7年10月29日（水）17:00 予定

問合せ先 (公財) 佐賀県建設技術支援機構 技術部 企画情報課

TEL 0952-97-5596

その他 (1)車でご来場される場合は、会場敷地内の駐車場をご利用下さい。

(2)座席は全席指定席となります。

※本研修会は、(一社)全国土木施工管理技士会連合会CPDS、(プログラム番号1020407 形態コード101-2 3ユニット ※形態コード101-2は年間取得6ユニットの上限があります)、(一社)建設コンサルタンツ協会CPD(プログラム番号202510080001 2.66CPD単位)の認定プログラムに承認されています。